

グリセロール-3-リン酸脱水素酵素

Cat. No. EXWM-0431

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 このフラビン依存性脱水素酵素は、解糖、呼吸、リン脂質合成の中心的な接合部で機能する必須の膜酵素です。細菌では、この酵素は細胞質膜に局在し、一方真核生物では内因性ミトコンドリア膜の外側表面にしっかりと結合しています。真核生物では、この酵素は細胞質酵素 EC 1.1.1.8、グリセロール-3-リン酸脱水素酵素 (NAD⁺) と共に、細胞質で生成された NADH が主に解糖からミトコンドリア電子伝達系によって NAD⁺ に再酸化されるグリセロール-3-リン酸シャトルを形成します。このシャトルは、細胞質 NADH からミトコンドリアマトリックスへの還元当量の移動において重要な役割を果たします。昆虫の飛行筋は生理的キノンとして CoQ10 のみを使用するのに し、ハムスターやラットのミトコンドリアは主に CoQ9 を使用します。この酵素はカルシウムによって活性化されます。

別名 α-グリセロホスフェート脱水素酵素; α-グリセロホスフェート脱水素酵素 (受容体); 嫌気性グリセロール-3-ホスフェート脱水素酵素; DL-グリセロール 3-ホスフェートオキシダーゼ (誤解を招く); FAD 依存性グリセロール-3-ホスフェート脱水素酵素; FAD 依存性 sn-グリセロール-3-ホスフェート脱水素酵素; FAD-GPDH; FAD 結合グリセロール 3-ホスフェート脱水素酵素; FAD 結合 L-グリセロール-3-ホスフェート脱水素酵素; フラビン結合グリセロール-3-ホスフェート脱水素酵素; フラボプロテイン結合 L-グリセロール 3-ホスフェート脱水素酵素; グリセロール 3-ホスフェートシトクロム c 還元酵素 (誤解を招く); グリセロールホスフェート脱水素酵素; グリセロールホスフェート脱水素酵素 (受容体); グリセロールホスフェート脱水素酵素 (FAD); グリセロール-3-ホスフェート CoQ 還元酵素; グリセロール-3-ホスフェート脱水素酵素 (フラビン結合); グリセロール-3-ホスフェート:CoQ 還元酵素; グリセロホスフェート脱水素酵素; L-3-グリセロホスフェート-ユビキノロンオキシドレダクターゼ; L-グリセロール-3-ホスフェート脱水素酵素 (あいまい); L-グリセロホスフェート脱水素酵素; mGPD; ミトコンドリアグリセロールホスフェート脱水素酵素; NAD⁺-非依存性グリセロールホスフェート脱水素酵素; ピリジヌクレオチド非依存性 L-グリセロール 3-ホスフェート脱水素酵素; sn-グリセロール 3-ホスフェートオキシダーゼ (誤解を招く); sn-グリセロール-3-ホスフェート脱水素酵素; sn-グリセロール-3-ホスフェート:(受容体) 2-オキシドレダクターゼ; sn-グリセロール-3-ホスフェート:受容体 2-オキシドレダクターゼ

製品情報

形態	液体または凍結乾燥粉末
EC 番号	EC 1.1.5.3
CAS 登録番号	9001-49-4
反応	sn-グリセロール 3-リン酸 + キノン = グリセオンリン酸 + キノール
備考	このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは 5~9 週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C ~ -80 °C で保管してください。